

**日本学術会議 地域研究委員会
多文化共生分科会
(第26期・第8回)
議事要旨**

1. 会議名 地域研究委員会 多文化共生分科会 (第26期・第8回)
2. 日 時 2025年10月26日(日) 16:00~18:30
3. 場 所 東京外国語大学本郷サテライト4階セミナールーム(401号室)にて
対面とオンライン併用のハイブリッド会議

【出席者】(委員)

<対面で出席>

上杉、梅屋、大西、小長谷、鈴木、竹沢、宮崎、森本、吉村(あいうえお順)

※ゲスト・スピーカー：江島晶子(明治大学法学部・教授)

<オンラインで出席>

香室、北中、窪田、田村、松田、丸山

【欠席者】 稲葉、小長谷、陳

【議題】

(1) 前回の議事録確認

・前回の議事録が、確認、承認された。

(2) 江島晶子氏(明治大学法学部・教授)より、「排外主義と憲法・国際人権法・人権法—循環型人権システムから考える—」と題する報告がなされ、その後、質疑応答が行われた。

(3) 大西楠テア委員(東京大学法学政治学研究科・教授)より、「地方自治体における多文化共生施策 - 川崎市の事例を中心に - 」と題する報告がなされ、その後質疑応答が行われた。

(4) 今後の活動予定

排外主義(外国人排斥)の高まりに警鐘を鳴らすシンポジウムを年度内に開催することを目指し、シンポジウムの構成や登壇者等の詳細については、竹沢委員長を中心に準備を進めることとした。

(5) その他

竹沢委員長より、すでに分科会で承認されている令和2年2月1日に開催予定の高校生を主たる対象とするシンポジウムについて、他者理解をテーマとすることや登壇予定者5名についての説明があった。

以上